

# 6月10日 その鐘の音鳴り響く

この鐘は藩政時代より、生活のしるべとして  
盛岡で時を告げてきました。  
6月10日〔時の記念日〕正午に  
この鐘は昔と変わらない音を響かせます。



現在内丸にあるこの時鐘は、4代盛岡藩主重信の時代にその子行信の発願で延宝7年（1679年）11月に铸造されたもので、日影門外時鐘と呼ばれ、長い間親しまれてきました。

もともとは、三戸町（現在の中央通3丁目付近）にあったものを明治維新後に盛岡城跡の内堀、鶴ヶ池わきの現在地に移転したものです。

昭和30年頃までの約280年に渡って盛岡市民に時を告げ続けてきました。

現在でも『時の記念日』である6月10日と元旦の除夜の鐘として年2回その変わらない鐘の音を聞くことができます。

6月10日には、盛岡にゆかりの先人達も聞いただろう鐘の音に耳を傾けてみてはいかがでしょうか。

〔盛岡市指定 有形文化財（工芸）〕

